

ごあいさつ

皆さまには日頃から南部町のまちづくりにご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

現在、南部町をはじめとする地域社会では、主に都市部に移動された方々が地元に残した森林、竹林、田（耕作放棄地）、家（空き家）などの「使用する機会が少なくなった財産」をいかに管理するかという課題が大きくなりつつあります。また、地元を離れた方だけではなく町内にお住まいの皆さまにも「使用する機会が少なくなった財産」を、今後どのように取り扱ってよいかという課題があると存じます。

所有者の皆さまにおかれては、残された森林、田や家などをどのように処理してよいか分からないといったお話もよく聞きますし、他の自治体では、管理されなくなった人工林や空き家が、倒壊などによる災害の危険性を生むとの報告もあります。また、近年、全国の自治体で「空き家の適正管理に関する条例」などが次々に誕生するなど、地域社会に残された「使用機会が少なくなった財産」の管理が全国的に大きな問題としてクローズアップされてきております。

しかしながら、これまでこうした問題が「どの程度深刻なのか」、「解決に向けてどのようなニーズが住民間にあるのか」について、包括的な調査が行われてこなかったのが現状です。また、それに対して「どのような対策が可能であるか」についても、十分検討がなされてこなかった経緯があると感じます。そこで、今回、皆さまのご協力により、南部町における当該問題の課題と対策を明らかにしようとする次第です。

本調査では、鳥取大学との学術協定に基づき、鳥取大学学識経験者の方に調査の企画・分析のご協力をお願いしております。町としても調査結果の動向に着目しているところでございます。

本調査が、皆さまの暮らしやすいまちづくりの一助となることを願うとともに、重ねてのお願いとなりますが、本調査へのご協力を賜りますようお願いいたします。

平成26年2月

鳥取県南部町
町長 坂本 昭文